

平成 30 年 10 月 23 日  
記者発表資料

## 平成 30 年度全国学力・学習状況調査 神奈川県公立小・中学校の調査結果（詳細）について

これまで示してきた「かながわの強みと課題」について、今年度の調査結果から改めて確認したところ、一部に改善は見られるものの、これまでとほぼ同様の状況でした。より一層充実・改善に向けて、昨年度示した「学びの充実・改善ポイント」について、今年度新たに「学校での調査結果の活用」を加え、改めて示しました。

### かながわの強みと課題

- 強み 1 授業での活発な言語活動（話し合い活動等）により、児童・生徒の「伝えたいことを適切に話す力」が養われています。
- 強み 2 児童・生徒の国語、算数・数学の授業に対する意欲的な姿勢が見られます。
- 強み 3 外部講師を積極的に活用した校内研修が行われています。また、小中連携しての授業研究が活発になっています。
- 課題 1 学校は、一人ひとりの児童・生徒が学んだことをしっかりと身に付けるために、自ら学ぶ習慣づくりを進める必要があります。
- 課題 2 学校は、全ての児童・生徒が自己肯定感を高め、夢や目標に向かう意欲をさらに高めていく必要があります。

### 学びの充実・改善ポイント

強みを生かし課題を改善するために、必要と考えられる取組み等を示す。

- 1 「主体的・対話的で深い学び」の視点から、学校全体での授業づくりをより充実させましょう。
- 2 児童・生徒一人ひとりの学習上の困難さを的確に捉え、個に応じた指導法を工夫しましょう。
- 3 児童・生徒の視点に立った授業づくり、学校づくりを、家庭・地域とともに進めましょう。
- 4 【新規】自校の調査結果を学校全体で有効に活用しましょう。

別添資料 平成 30 年度版「かながわの学びの充実・改善のために」

平成 30 年度全国学力・学習状況調査 神奈川県公立小・中学校調査結果の分析・活用資料

### 問合せ先

神奈川県教育局支援部子ども教育支援課  
課長 宮村 電話 045-210-8212  
教育指導グループ 下反 電話 045-210-8217